

EL «ARGENTIN DJIJO»

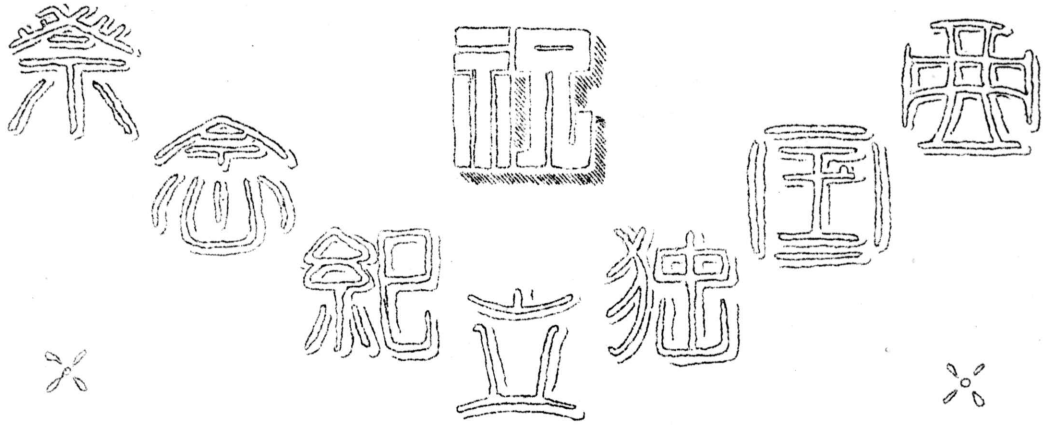
PERIODICO SEMANAL EN JAPONES

Redacción: USPALLATA 981
91. 8. 23 B. Orden 7051

Fundado en 1924
Nº 211



NUMERO EXTRAORDINARIO
1810 - 25 DE MAYO - 1928



THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.

B^{no} MITRE 363 - BUENOS AIRES

CASA MATRIZ
YOKOHAMA

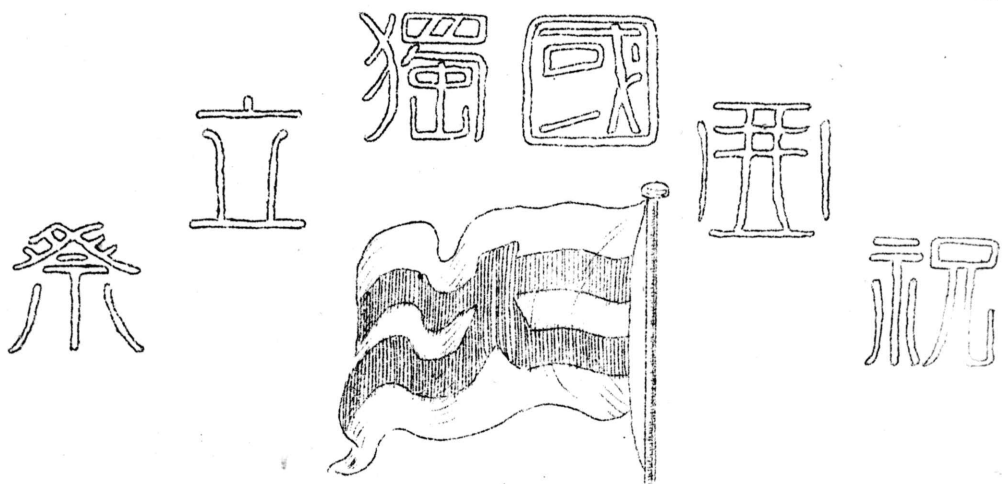
CAPITAL SUCRITO E INTEGRAMENTE PAGADO
YEN 100,000,000.

横濱正金銀行

ブエノスアイレス支店

バルトロメ・ミートレ街二六三番

U T アヴェニダ 〇四一六
U T 全 四二八八



大阪商船会社 南本航船

マニラ丸 (六〇〇噸)

ハワイ丸 (六〇〇噸)

サントス丸 (五〇〇噸)

ラプラタ丸 (五〇〇噸)

モンテビデオ丸 (五〇〇噸)

大阪商船株式会社

フエノスアイレス支店

サンマルチン街四一八
電話二八二五レティロ

OSAKA SHOSSEN KAISHA
San. Martin 418 - 2.8.2825 Retiro

祝 燕 國 獨 立 祭

J. YAMADA & CIA
IMPORTADORES

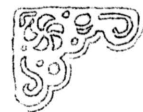
山

田

商

會

市内アルシーナ街一八四〇



91.6.37 RIVADAVIA 0571 1838-AL SINA-1840, B: A:

25 DE MAYO

1810

COMPANIA ARGENTINA DE BILLARES



1928

Cazabán & Fernández



ESCRITORIOS Y VENTA
RIVADAVIA 1187
U.T. MAYO 4398
C.T. CENTRAL 2806

FABRICANTES DE MESAS DE BILLAR Y ACCESORIOS

FABRICA:
SALCEDO 3543/45
C.T. PATRICIOS 101
U.T. CORRALES 1163
DIR. TEL.
CAZAFER B: A:

BUENOS AIRES

ALGUNOS DE LOS CLIENTES JAPONESES QUE HAN ADQUIRIDO BILLARES

S. KODAMA — B: ARES MIHURA Y CIA — PERGAMINO YAMAGUCHI Hnos. — ROSADA
F. UEHARA — TUCUMAN SHIMODA HIQA Y CIA — BALCARCE, K. KUBOTERA — SAN FRANCISCO
GENSHO UEMA — RESISTENCIA TAKESAKO Y SHINDEN — B: A: Y otros que seria largo enumerar.

S. TSUJI

辻
文
次
郎
商
店

祝
祭
立
国
旗

一
九
二
二
年
五
月
廿
五
日

BALCARCE 682

U.S. 5744 Av.

25 DE MAYO
1810 - 1928

KATSUDA & Cia

IMPORTADORES

勝

田

商

會

MEXICO 1432

U.S. 38 MAYO 2213

25 DE MAYO
1810 - 1928

Z. HORIKOSHI

IMPORTACION DE SEDERIA
EN GENERAL

SALTA 282

B. A.

U.S. 2233 MAYO

CASA MATRIZ
22 YAMASHITA-CHO, YOKOHAMA

SUCURSALES

PARIS	LONDRES
NUOVA YORK	CHICAGO
SYDNEY	KANAZAWA
MELBOURNE	FUKUI
BRISBANE	OSAKA

FUJISAKI & Cia

IMPORTADORES Y EXPORTADORES

CALLE TACUARI 718-B.S.A.S

Union Telef. 5249 Rivadavia

29 Shiocho Ichichome
YOTSUYA - TOKIO

46 Sumiyoshicho Sanchoime
YOKOHAMA - JAPAN

RIO DE JANEIRO
SAN PABLO
PERNAMBUCO
- BRASIL -

祝
強
國
獨
立
祭
會
商
崎
藤

祭立獨  國強祝

MATSUURA TRADING CO. LTD.

IMPORTADORES

ARTICULOS GENERALES DEL JAPON

LAVALLE 341 - Escritorio 107 - U.T. 31 Retiro 0985 - B.S.A.S

會商易貿浦松

FABRICA Y
ESCRITORIO
HUMBERTO 1°
2013

U.B. B. Orden 2.243
SUCURSAL "A"
LAVALLE 1388
U.B. Mayo 6354

SUCURSAL "B"
B. MITRE 349
U.B. Av. 0153

獨
立
祭



祝
強
國

Cafe Tokio
DE

Haihara & Nos.

東京珈琲店
員原兄英

祝 愛 国 独 立 紀 念 祭

横 濱 加 藤

合 名 公 社

代 理 店

原 商 店

輸 入 部

ベルグラーノ街一四七〇

U.T. マーヨ ニ四三六
U.T. ルネア 六六二四

小 賣 部

ブルロミル街一〇三〇

U.T. マーヨ 七〇三三

25 DE MAYO
1810 — 1928

TINTORERIA
"LA JAPONESA"
DE
JULIO H. SAITO

齊 藤 茂 次

邊 務 店
ハポネーサ

CONSTITUCION
3482

25 DE MAYO
1810 — 1928

S. ANDO

INTRODUCTOR DE
"KATOL"
MATA-MOSQUITOS

"KATOL"
POLVO INSECTICIDA

"MUSITOL"
MATA: MOSCAS, HORMIGAS,

INSECTOS DELAS PLANTAS

Inofensivo a la salud

Venta y Escritorio

RIVADAVIA 770
Qu. 6. 37 Riv. 1570

Depósito y Venta

WARNES 1750-54

立紀念祭

FOTOGRAFIA



祝王独

KASAY Y HNOS



富士
西
峯

寫真館



CALLAO 1451-Bº Aº - U.T. 4563 JUNCAL

立紀念祭

TINTORERIA JAPONE-



祝王独

SA A VAPOR Y A SECO

“EL TOKIO”

DE C. MIYAZAKI

宮崎
煙光

洗濯店
東京

CASA CENTRAL

CORRIENTES 2589

U. G. Cuyo 47 - 3807

SUCURSAL

SANTA FE 2500

U. G. 44 Juncal 5609

SUCURSAL

TUCUMAN 882

U. G. 35 Libertad 1898

祝 國 獨 立 紀 念 祭

在 西 日 本 人 會

在 西 農 業 研 究 會

西 國 農 業 青 年 會

在 西 蔬 菜 園 藝 同 業 組 合

祝 國 獨 立 祭

一 九 二 六 年 五 月 廿 五 日

日 本 野 球 團

祝 國 獨 立 祭

服 部 定 雄

リニエールス巷 六四九
電話 ミトレ・ス二一六

亞尔然丁時報

建國紀念祭に臨みて

千古の雄姿をそのまゝに雄然として天に俸り立つアンデス山下に連る廣漠渾しき大平原に白羊の平和なる姿を眺め肥馬高天に嘶く音を聞き悠々流れて大西の海洋にそそぎ行く銀河の流れに自由のリズムを聴き紅に咲く床にさそいかに國民の血を思ひ繁り行くオゾン線の香を向上的國民精神と視る時吾人の眼には大亞爾然丁天和國の姿がそのまゝ、光輝する一つの大きな詩の如くに映ずる。而してアルゼンチン共和国市民の魂に独立自主、自由愛好、平和湯仰の一大精神が嚴然として存することを思ひながら、吾人ハ心から大亞爾然丁を擁護せし居る。そしてこの恵まれたる天地に在住することを許されて居ることを感謝せざるを得ない。去りながら此の自由と平和の満ちたる大亞爾然丁を愛し、購はれたるものではなかつた。

大衆に依る一大勢力こそ今日の大亞爾然丁の自由と平和とを勝ち得たる所以である。大亞爾然丁は秋の百有八星霜の國が先づ世界の文化を取入れ咀嚼消化して一の融然たる新映文明を成し、而して洋々たる前途に向つて確乎たる歩調を以て進みつゝある。是に吾人は崇高なる建國精神の不滅の偉力と亞爾然丁の偉大さを認むる者である。

今や爛熟せる西政及び北米の文明は殆ど一に羅阿アメリカに流れ来りつゝある。特に中南米諸國に於ては、今此文明流入の傾向は益々旺盛とある。而して近き將來に於て必ず十九世紀中葉より廿世紀の初めに於て世界文化の華と映さし西政文明のそれにも優る文明を亞爾然丁に見るであらうと思はれる。

此文明轉換の潮流に處して亞爾然丁市民の最も心すべきは、飽くまでも亞爾然丁の大精神を忘るゝことなく日本の明治大維新後の國運興隆に際して勤むるは西政物質文明輸入に汲々として幾多の固有文明を失ふが精神文明方面を專らに研し、たるが如きことなき様何処にも精神物質の両文明を受け入れ以つて新文化の建設に努むべきことである。もつと詳しく言へば亞爾然丁に必要なる外國よりの資本招致に當つて資本を仰ぐ代償として亞爾然丁の國家的尊嚴を傷つたり又は精神的自由を束縛する、ことのない様飽くまで自主の旗色を鮮明に押立て、進むことである。

即ち此は開かれん、求めよと云へば興へられんと言ふが吾人は亞爾然丁を特別に進んで西政及び北米の文明を米の如くも今や中南米其他諸國の國を除く外、舊大陸は其文化漸く飽和の狀態にあるが故に自然的の勢力として飽和的文化はどの地でも求むる中南米に押寄せ来るべしと思はれる。故に吾人はこの他動的(亞爾然丁)に於て(北米)文化の潮流と確然と見詰めて以つて是れが殊否の選擇を誤ることなき様細心の注意を怠る勿れと云ふのである。何と云へば玉石混同の文明の輸入にまかせ行くことは、未だ健全にして清新なる新文化の誕生を見る所以でないからである。

吾人は此機會に於て祖國に於て呼ばれたいことがある。と言ふのは西米諸國が先を争つて其資本と、その學術と、その工藝と中南米諸國に亞爾然丁に移植し、及びつて亞爾然丁文化開闢上の功勞者の地位を獲得し、併せて自國の利益計らんとする中に在つて極東第一の文化國たる日本は何時迄西政文明に心酔し蝸牛南上の争ひに汲々としてあるのであるかと言ふことである。

現存の日本として滿蒙、西比利亞の利権獲得、改米諸國との折衝親交が最も必要であることは吾人も之を認める者であるが、未だ尙中南米に対する研究、深く確然たる政策を以て思ひ至る時、吾國百年の長計上よりは何論現在の行詰れる國狀解決如何といふ長から考へても、轉々嘆せざるを得ない者である。

南米と一言へば伯國を考へ伯國と一言へば契約移民の輸出を思ふ外、亞爾然丁にせよ、アルゼンチンにせよ、自由海航者に對して旅券と下附し公使館を設けて國際儀禮上の交際をなし、領事館を置きて在留民の戸籍を取扱ひ、商務書記官を置いたれば、鉄と粉を以て使らた統計上の報告を以て如何と云ふ様な現狀を以つて如何で組織整然たる改米諸國の對南米植民事業文化移植に正敵するものが出来やうか。

我帝國が何時迄も改米諸國の後を追ふことなき事足れりとして居るならば、必ず近き將來に於て、我日本は中南米に對して中も足も出せぬ、ある日此れあることを覚悟せねばならぬ。

我政府は何故に改米諸國細亞局に對して中南米局を設けて徹底的に中南米の事情の研究に努めぬのであるか、(通商局、第三課(俗に言ふ後民課)を設け、領事上りの課長を置く位でこの廣い中南米の前途ある羅阿アメリカの事情が徹底的に調査せぬのは、實に當然のことである。

他の列強が盡く亞爾然丁大使館を設けてゐるのに、独り我帝國が先巧公使を送ることを以て甘んじてゐるが如きも、確かに吾國南米外交が改米の後を追ひつゝある證據である。

吾人は吾國が帝國は宜しく中南米開發會社を起して、中南米各國の事情に應じて、(道)當る開發事業を起し、(道)この必要を提唱するものである。英國が印度、南洋、南米等の開發に當つては、實にその初め、犧牲的國家事業としての政策をとつて居る。當亞爾然丁に對しても、かくもかゝの勸業部を設けて、僅かに二名の獨り、生活の直を與へてやつた位のこと、どうして此の廣い、この資本を必要とする亞爾然丁に資本を供給する。

我帝國は宜しく軍備を最小限度に縮小し、或は支那内亂に出兵することによつて他國より疑念の眼を以て見らるゝが如きことに要する費用を以て、中南米開發の一大會社(次頁)

と創設すべきである。次に日本は軍に移植民を送出すことまで、軍足れりとするに、進んで宗教家、学者、藝術家、技術者、僧の優秀なる者、中南米に渡りて日本文化の紹介と中南米文化の開發に努めさせようである。而してこれが為めにはもつと西諸教育を旺盛にするの要あることは言ふ迄も明かである。

更に吾人は在亞同胞諸氏に向つて一言したい。世有餘皇親の歴史と先驅者の費き努力に依つて今日近に進入して居る在亞同胞發展(或は發展)の地盤の上に更に向上と發達を示して生命ある植民事業として成果を収めしめんがためにはもつと大同團結せねばならぬ。

吾人は各地で邦人同業者間の小競合ひ益なき反目嫉視、中傷の事實を見るが如きは同胞相互の利益を共存共栄の上に置くことが出来ぬのみならず、亞國のためにも不利な事である。

この自由の平和、この前途ある亞國に於て何ぞ若くは小さな同胞間の争ひに身身をやつた要があらうぞ。もつと新天地に新運命を開拓するの餘地はある。もつと相共に力を合すれば堅実なる仕事も出来る。兄弟情に争ひの愚は何處まで立つても吾人の生活に莫の幸福を齎らす所以でないことを思ひもつと自重しもつと相協力して吾人の存在は亞國のためであると共に祖國のためである。力する様努力せねばならぬこと言ふまでもない。

今や大亞國の自然は晩秋で、そらに人生の悲哀を感じる時であるが、亞國市民の上には最も紀念すべき最も喜ぶべき最も祝ふべき、そして大亞國萬歳と高く唱へて、大亞國紀念日五月廿五日が訪れた全亞國には平和の光あまねく、自由の風くまなく漲つてゐる。年々歳々この紀念す可き日を迎ふるに當り吾人は光輝燦然たる建國の歴史を偲び大亞國の隆盛を祈禱するの念益々切なるものがある。(三)

アルゼンチン共和国 国旗と國民性

河南 德士

地上に國家を構成する國として國民の感情をそと、熱血を湧かしむるものは實に國旗である。吾人は光榮ある日本帝國を愛するが故に、我々の國の國旗を愛するが如く、何處に於ても何時でも日章旗を眺むると胸中には祖先への愛が湧然

と湧いて来る。吾人はアルゼンチン共和國に在つて自由と平和に充ちたる生活に恵まれてゐるが故に外國の何れの國旗にも優つて亞然たる青白旗を愛するとして敬ぶ。

人間は愛するものに対しては凡て愛する念を現はす為めに色々と理屈をつけたるものである。天日うら、かに晴れ渡る秋空に、翻る青白旗を眺めたる獨立紀念祭に臨み、吾人の血潮はいやが上り高鳴つてやまぬ。而かもこの青白旗が國旗として制定せられて今日に及んで居る由未であると言はれる建國の志士七波士團の快男兒マヌエル・カランが今を去る一百十八年前の五月廿四日革命の志士がアラサマヨに集つて保守派のラサマヨに屈服させた時革命を叫ぶ人の胸に青白二色のリボンが飾られてゐたといふ事に思ひ至ると、吾人は革命志士の心事を偲び青白旗が亞國の獨立と共た國旗たる可く端緒づけられてゐたこと、思ひ合せて海に意表深く感ずる者である。かく思ふ時吾人はアルゼンチンの國旗に対して、理屈をいつて見たくあつた。日本人が日章旗に対して、色々意表をいつて見る様に、以下書いて見た。

アルゼンチン共和国の地は白色であること、吾人は亞國の純真無垢恰も雪の白き性質にひとしいものと見たい。

まことに我々は當國に在任して最も快く感ずることは人種的偏見なく此の暗りなく真に四海同胞の親和の情を以て我々を愛するべしと人々を遇して居ることである。殊に米人嫌はれ南阿に於て排せられ同種族支那に於てさへ動もすれば排日を受け、かつては他國に於てはベルに於て吾同胞が差別的立場に置かれやうとてゐる事實を知る我々が當國に於て市民より白旗の態度を以て温せられ、これは当然だと云ふ可く餘りに感謝すべき親愛の情である。

かく思ふ時吾人が國旗の地の白色を以て純真なる亞國國民性の表徴也と言ふことは單なる理屈ではあるまい。

此純真なる國民に依つて好遇せられてゐる在亞同胞は又純新なる心持ちを以て酬ゆる筈である。

次にこの純白を表はす白地に中にて周圍を色どつてゐる二本の青き線、これを吾人は淺淵なる向上發展を希つて止まぬ亞國市民の抱く進取の氣象の表徴と見る者である。草木の青々としてゐることは、その成長を表はしてゐる。黄色と赤とを以て時をればやがて酒若の運命にあることを意味してゐる。

まことに亞然たる建國以來百十有八年、常に向上へ發展への途を辿つて今日の興隆を示し

然かも洋々たる前途に向つて尚ほ進歩せんとしてゐる。而もこの向上進歩を表はす青色は渺茫蒼茫之千載に亘りしき大海に見るところである。

海が凡てを包擁して居る如く、亞然丁の進歩は排他的であく世界文化をひき取り取り入れる大の推量ある大國民の態度を以て居る。知らず知らず進取の精神を帯びる人々も一度知らぬ間に進歩的抱擁性に富む亞國民も不正不義の道には天然起つて敵がけの大英気を有してゐる。此はアルゼンチンが他より侮らるる所以であるのである。吾等在亞邦人は純真なる國民性を揚ぐることを希ふが如く、此進取の氣象の下に國運の發展を期せんとせよ。

建國の善良なる市民と云つて文化開發に寄與する愛がけられぬが如く、我々の國の地も白色を以て純新なる心持ちを以て酬ゆる筈である。

我々の國は此白色を以て、我々の向上を示す青色を以て、我々の精神は本國に於てある。吾等は日章旗を愛するが如く、吾等の亞國國民を愛するが如く、

あ、五月廿五日建國の志士が青白のリボンに革命の熱情を示し、戦つて自由と平和の地を創り出した。何と云ふ敬愛すべき日である。

亞國民の純真と進取の氣象、而して抱擁性を現はす青白の國旗、永遠に光榮あれ。

まことに我々は當國に在任して最も快く感ずることは人種的偏見なく此の暗りなく真に四海同胞の親和の情を以て我々を愛するべしと人々を遇して居ることである。殊に米人嫌はれ南阿に於て排せられ同種族支那に於てさへ動もすれば排日を受け、かつては他國に於てはベルに於て吾同胞が差別的立場に置かれやうとてゐる事實を知る我々が當國に於て市民より白旗の態度を以て温せられ、これは当然だと云ふ可く餘りに感謝すべき親愛の情である。

かく思ふ時吾人が國旗の地の白色を以て純真なる亞國國民性の表徴也と言ふことは單なる理屈ではあるまい。

此純真なる國民に依つて好遇せられてゐる在亞同胞は又純新なる心持ちを以て酬ゆる筈である。

次にこの純白を表はす白地に中にて周圍を色どつてゐる二本の青き線、これを吾人は淺淵なる向上發展を希つて止まぬ亞國市民の抱く進取の氣象の表徴と見る者である。草木の青々としてゐることは、その成長を表はしてゐる。黄色と赤とを以て時をればやがて酒若の運命にあることを意味してゐる。

まことに亞然たる建國以來百十有八年、常に向上へ發展への途を辿つて今日の興隆を示し

然かも洋々たる前途に向つて尚ほ進歩せんとしてゐる。而もこの向上進歩を表はす青色は渺茫蒼茫之千載に亘りしき大海に見るところである。

海が凡てを包擁して居る如く、亞然丁の進歩は排他的であく世界文化をひき取り取り入れる大の推量ある大國民の態度を以て居る。知らず知らず進取の精神を帯びる人々も一度知らぬ間に進歩的抱擁性に富む亞國民も不正不義の道には天然起つて敵がけの大英気を有してゐる。此はアルゼンチンが他より侮らるる所以であるのである。吾等在亞邦人は純真なる國民性を揚ぐることを希ふが如く、此進取の氣象の下に國運の發展を期せんとせよ。

建國の善良なる市民と云つて文化開發に寄與する愛がけられぬが如く、我々の國の地も白色を以て純新なる心持ちを以て酬ゆる筈である。

我々の國は此白色を以て、我々の向上を示す青色を以て、我々の精神は本國に於てある。吾等は日章旗を愛するが如く、吾等の亞國國民を愛するが如く、

あ、五月廿五日建國の志士が青白のリボンに革命の熱情を示し、戦つて自由と平和の地を創り出した。何と云ふ敬愛すべき日である。

亞國民の純真と進取の氣象、而して抱擁性を現はす青白の國旗、永遠に光榮あれ。

日亜の文化接觸を望む

大阪商船がエノスアイレス支店長

矢嶋群平

垂木然下共和国独立祭に臨んで行に感ずることは、亞國々種発展の隆々たること、を以て前代洋々たることであつて、余も亦た亞國民と偕に滿腔の熱誠を以て今日の紀念すべき日を祝福すると共に、日亜兩國間の友誼極めて順調に在ることと喜ぶものである。

而して斯の友誼を以て益々濃やかからしめんとすは、唯に當局の外交にのみ在ることなく、在留同胞一人々々が自重して、かりにその日東帝國民としての体面を失ふ事なく進んで、亞國及亞國市民に対する理解を深からしめる處が、是は是れから考へるべきである。

日亜間の通商貿易の増進も、是れが第一である。日亜兩國の文化的接觸に由る親善の今少しく徹底的具體的に行はれんことを望むこと切なる者である。

百聞は一見に如かずと言ふが如く、その通りであつて、幾々が日本書籍や雜誌などで讀んだり友人から聞いて想像した、亞國と實際に見ての、垂木然下とは餘程の違ひである。實際は當國の文化程度の進んでゐることに驚かされる。

得た同様に、亞國市民が、多く改米を以て、書籍に依つて想像の中に描く日本と實際の日本とは、是れに驚かされる。現に、城崎船さん、又の第一回航路で、日本を觀光した、實業家モレーノ氏の如きは、日本の實際を見ることの、科學、工業の発達、あること、風光の明媚、あること、人情の醇美、あること、等々、感服して、任せて、爾來、誰れが、何んと言つても、聞かぬ程の、親日家になり、歸國後、日本人の、親を見ること、日本船を見ること、日本商標を見ること、日本の、話と、聞くこと、等々、凡て、が、嬉しくて、堪らぬ、といふ、様になり、遣ふ人、毎に、口を、挿れて、日本行を、勧め、現に、同氏の、勸誘に、依つて、日本觀光と、ふり、た、人が、数、名、ある、程、である。モレーノ氏の、如きは、先づ、例外、とする、昨年度、に、日本を、訪問した、亞國人、で、勿論、相當の、お世辞、はある、もの、でも、これ、も、これ、も、日本を、讚めて、ある、といふ、事實、は、亞國市民、を、以て、實際の、日本を、見せ、し、む、る、こと、が、如何、に、必要、である、か、と、疑ふ、に、十分、であらう。

之れ、に、由つて、之、を、みれば、料、米、幾、多、の、亞國、官、吏、政、治、家、學、者、實、業、家、等、が、日本、訪問、を、お、す、に、至、れ、ば、日、亜、の、親、交、が、より、深、く、な、り、

は、も、と、より、や、が、て、通、商、貿易、物、上、にも、好、結果、を、も、た、す、可、く、同時、に、殺、傷、同、題、に、関、り、ても、或、程度、の、日本、に、有利、なる、や、う、な、道、が、開、か、れ、は、せ、ぬ、か、と、考、へ、る、者、が、あ、る、が、昨、年、十、名、の、日本、觀光、先、は、大、概、物、見、遊、山、の、氣、持、で、行、つ、た、人、が、大部分、である。

然らば、如何なる方法で之を実行するかと云ふに、何れも、日亜の距離極めて遠く、言詰、風俗、等、を、一、く、異、なり、日本、に、行く、こと、は、心、の、中、で、行、き、度、く、希、な、一、種、の、不安、を抱、いて、躊躇、して、ある、といふ、のが、亞國民、に、て、日本、訪問、を、お、す、人の、少、い、所以、である、から、先、づ、日本、から、年、々、學、者、政、治、家、軍、人、藝、術、家、等、を、來、亞、せ、し、め、て、亞國、を、視、察、せ、し、め、俾、れ、駐、在、日本、外、交、官、及、在、留、民、中、の、有力、者、を、通、つ、て、亞國民、中、に、友人、と、つ、くり、お、し、せ、し、め、一人、若、く、は、二人、伴、つ、て、日本、に、歸、る、のである。さ、す、れ、が、彼、等、の、不安、を、取、ら、し、め、同時、に、日本、視、察、上、に、て、頗、る、便宜、であ、ら、う、と思、は、れる。

現、在、の、こ、ろ、各、名、各、名、で、觀光、團、を、組織、し、て、日本、に、行く、こと、は、船、室、の、關係、から、も、日本、に、於、ける、ホテル、(歐、米、諸、國、の、他、の、觀光、外、國、と、か、ら、合、計、時、々、ホテル、で、外、人、向、きの、もの、が、無、く、ある、恐、れ、がある、)の、關係、上、好、ま、し、から、ぬ、こと、である。

その他、日亜西國の文化的接觸として、是れ、般、般、日本、の、中、小、學校、生徒、作品、を、亞國、の、中、小、學校、に、送、つ、て、來、た、様、子、は、實、に、効果、ある、こと、であつて、も、つ、と、あ、ら、う、な、企、て、を、旺、人、に、する、必要、が、あ、る、と、考、へ、る。一、年、在、亞、國、に、於、ける、日本、へ、の、日本、紹介、宣傳、に、物、定、り、ふ、い、感、がある、が、在、亞、の、官、民、一、致、して、こ、の、方面、に、力、を、盡、す、と、夫、に、一、方、亞國、に、日本、に、紹介、する、こと、にも、努、め、たい、ものである。

現在、日本、で、亞國、を、知ら、んと、する、に、果、して、信、頼、する、に、足、る、卷、を、書、き、類、が、あ、る、であらう、か、殆、ど、信、頼、置、く、に、足、る、もの、は、あ、い、と、乏、し、い、日、亜、の、通、商、貿易、も、後、植、民、先、づ、兩國、の、文化的、接觸、理解、の上、に、進、め、ら、れ、ね、ば、夫、れ、に、根、柢、ある、もの、と、考、へ、る、こ、と、は、出來、ぬ、と思、ふ、ので、以上、申、見、を、述べ、た、次第、である。本、論、は、關係、が、あ、ら、う、か、我、商、船、會、社、南、米、線、を、通、つ、て、見、たる、日、亜、貿易、は、昨、年、より、下、つ、て、あ、い、と、共に、上、つ、つ、も、居、る、とい、ふ、亞國、の、生、肉、を、日本、に、輸出、する、こ、とも、船舶、の、冷蔵、装置、は、出來、て、お、り、過、般、に、試驗、的、に、日本、へ、運、入、し、て、行、つ、た、様、子、が、次第、で、料、米、此、の、方面、にも、望、み、は、あ、る。

現在、在、亞、國、から、日本、に、行、つ、て、お、る、もの、は、何、と、考、へ、つ、ても、ケ、ラ、チ、ヨ、が、筆、頭、である。

年、々、亞國民、に、て、日本、に、行く、人の、増加、する、こと、は、喜、ぶ、が、べき、こと、であつて、益々、この、傾向、を、助、長、せ、ね、ば、なら、ぬ。總、つ、て、在、亞、國、

胞で歸國する人は商人の如く一時的の在留者を際く外所謂移殖民者で歸國する人の少くかつた事日本から未亞する人の増加して来たことは共に同胞發展の左の障礙す可きことである。

而して現在海外に出る人達は大抵最初から日本には歸らぬといふ先へ下の財産の喪失までして来ざる様であるから是れ又莫の植民といふ立場から考へて結構なる事であつて先住者と新來者とが相協力して事に當るならば必ずや料米ある仕事を成すことが出来ると思はる者である。

終りに亞國料米の隆盛を在留民諸氏の自重奮闘と祈つて摘筆する(在文叢記有)

工藤金也

祝独立祭

松田五郎

CAFE TOKIO

MIURA & Cia

CASA MATRIS MERCEDES F.C.O.
(U. S. 191)

SUCURSAL N°1 JUNIN F.C.P.
(U. S. 198)

SUCURSAL N°2 LUJAN F.C.O.
(U. S. 100)

SUCURSAL N°3 PERGAMINO F.C.C.A.
(U. S. 151)

東京 紀念 祝 國 獨 立 紀 念

三浦合興商店

カフエ・東京

支店

支店

支店

本店

伏見松尾
伏見松尾
久慈甚忠
ベルガミーノ市

穴戸庄五郎
管野幾郎
ルハ市

フニ市
三浦與吉

金水良平
金子野武
メルセデス市

祝 榮 國 獨 立 紀 念 祭

CAFE JAPON

DE

J. TAKEUCHI

CASA MATRIS Calle San Martin 658

SUCURSAL Cortado Riva esq. San Juan

- ROSARIO -

内重吉

ロサリオ市
カフェ・エ・パホン

祝 國 獨 立 祭

CAFE TOKIO

CASA MATRIZ

BALCARGE F.C.S.

SUCURSAL

MAL DEL PLATA F.C.S.

本店 バルカルセ市
支店 マルデルプラタ市
カエ・東京

比嘉龜千
比嘉光輝
下田仙太郎

祝 國 獨 立 祭

CAFE TOKIO

de EIZI NAKAMA

TANDIL F.C.S.

ブンディール市
カフェ・東京

中岡榮一

經濟界の

去年と今年

木根子

去年と今年心静かに観察
 去(過去)に駈らす哲人の心境も
 おく木柄に散る落葉秋葉へ
 哀れ逝く秋の聲に歌ひ詩
 人の想もあつた。昔年、昔年
 財布の底、心をのぞかせ、
 三年、五年の足跡を追憶し
 暗雲尚ほ深く行く手を眺めて
 居る。

去年の豫想は本年は景況
 回復するだろう。地理上から推
 測しても、貿易から判断しても
 その儘には有るが当然の成り行
 きと、新界の識者の大多数が
 論断して居た。十程に及ぶ
 葉用斯く申す。木根子まで一
 湯天候の豊には期待するところ
 多し、少くも、おんがに及んで
 も、おんがに及ぶ。人、人、人、
 人間は依然人間。人、人、人、
 自然の行く手を豫断すること
 は、矢張り不可能事である。な
 らば、経済界の真相は、人、人、
 思想の進行で進んで居る。
 不況の真相は、日、農、作、の不振に
 在り。日、金、融、の引締まりに
 あり。日、人、心、の萎縮にあり。
 甲論、乙駁、現在の状況は、何れ

を信じて何れを疑ふべきであ
 るか、吾等若くは迷はねばな
 らぬ。想ふに、何れも真相であら
 う。混沌の現存では、結
 果が原因を産す。原因が
 更に結果を生む。及、及、
 作用と構成して居るから、非
 常に複雑な関係が裏面
 に存在すると思はれる。
 政府の安定も、本一、の趨勢が
 よくて、新界動議の一因をふり、
 居ることは、衆目の見る處。
 活の困難と疲弊は、單に祖國の
 みの困難と疲弊は、單に祖國の
 讃美せらるゝ、アルゼンチンにさへ
 も、今年に於ける。
 自然的富源の豊饒の天地は、
 斯くの酒場を祖國の主活
 難の深刻に於ては、其の比では
 ないかも知れぬが、近頃は人の類
 さへ見れば、日、常、不景況で、
 累が、日、常、の疲弊に代へられ
 居る。南、貴、人、心、の、卸、扱、
 これに、日、常、の、疲、弊、に、
 のが、普通、で、日、常、の、疲、弊、に、
 は、日、常、の、疲、弊、に、
 の、諸、君、に、對、し、て、
 は、日、常、の、疲、弊、に、
 らう。尤も、其れが、
 に、判、る、様、子、に、
 貧乏と、日、常、の、
 知る、吾、等、の、
 夫、に、對、し、て、
 任、す、る、諸、君、の、
 束、て、信用、出来、ぬ、

過三ヶ年に於ける 亞國對外貿易 第一期(自月三三)

月	一九二七年	一九二八年
一月	八六九九一九九二	一〇五、四三二、七九六
二月	一〇〇、七五七、二〇四	一〇五、九八二、三三八
三月	一〇二、六二七、五八九	一〇五、九八二、三三八
四月	九二、三四〇、五九一	八八、九九一、六四二
合計	三八二、七二四、五七六	四〇三、三三一、八三七

▲差額金貨三〇、五七二、七六一串にて約五分三厘の増進也

主要農作物の輸出比較 (五月中旬迄の合計)

品名	一九二七	一九二八
トリス	一八八、五三六、六〇二	一八八、五三六、六〇二
コーン	四八四、五〇二	四八四、五〇二
小麦	三〇二、一六一	三〇二、一六一
豆	七九、五九六、九七九	七九、五九六、九七九
アベーパー	三二七、〇三〇	三二七、〇三〇
その他	二九七、〇〇〇	二九七、〇〇〇

前記農作物の平均相場 (現物相場)

品名	一九二七	一九二八
トリス	一、二一五	一、二一五
コーン	一、三三三	一、三三三
小麦	一、〇二五	一、〇二五
豆	二、一六〇	二、一六〇
アベーパー	九、六〇	九、六〇
その他	七、九〇	七、九〇

収獲上悲観説を傳へられ、トリスの相場も、セント
 レイオス州の豊作等に依つて豫想外に其の損
 失回れられ、最近農表の農務省の収獲豫想に
 依れば、昨年と比較して約四五萬噸の減少、即ち
 全収獲の五分五厘に、減当すると報告されて居る。
 新く運使して持たざる原因があるもの見
 當らぬが、仰の財布の中にも、若葉の秋風吹見
 んで居るから、新の有力な雄弁に、事實と物語つて居る
 不況の動きも、木根子の貧乏な智慧を以て之
 を推測することは、可成り無意味の術である。唯、
 現状と過去の状態を比較して見ると、昨年来を伴す
 る何物かが、採らるゝ、試みであるから、木根子は、此、
 に事實に即し、数字の例證を、奉り、餘は、聲明、
 する、諸君の、御判断、に、委ね、て、筆、擲、し、

CAFE "NIPONES"²²

DE
T. TSURU

~~~~~  
AZUL  
F. C. S.

鶴

辰次

ア  
ス  
ニ  
ル  
市  
カ  
フ  
エ  
ニ  
ホ  
ネ  
ス

CAFE "TOKIO"<sup>22</sup>

DE  
TOGO TSURUSAKI

~~~~~  
BAHIA BLANCA
F. C. S.

鶴
崎
藤
吉

バ
イ
ア
ブ
ラ
ン
カ
市
カ
フ
エ
東
京

祝 賀 獨 立 紀 念 祭

CAFE JAPONES

DE
S. UCHIMURA
TRES ARROYOS

~~~~~  
F. C. S.

内  
村  
三  
藏

ト  
レ  
ス  
ア  
ロ  
イ  
ヨ  
ス  
市  
カ  
フ  
エ  
パ  
ホ  
ネ  
ス

CAFE TOKIO

DE  
N. MINAMI

~~~~~  
AZUL
F. C. S.

南
直
助

ア
ス
ニ
ル
市
カ
フ
エ
東
京

25 DE MAYO
1810 — 1928
TINTORERIA "IRIS"
DE
SATO Y SAKAMOTO

染物店「イリス」
佐藤貞次
坂本栄次郎

STGO. DL ESTERO 163
U.T. 38 Mayo 1166

25 DE MAYO
1810 — 1928
TINTORERIA
"BOTAFOGO"

DE

T. FUNAY

ENTRE RIOS
-215-

U.T. 7740 MAYO

25 DE MAYO
1810 — 1928
TINTORERIA
"TOKIO"

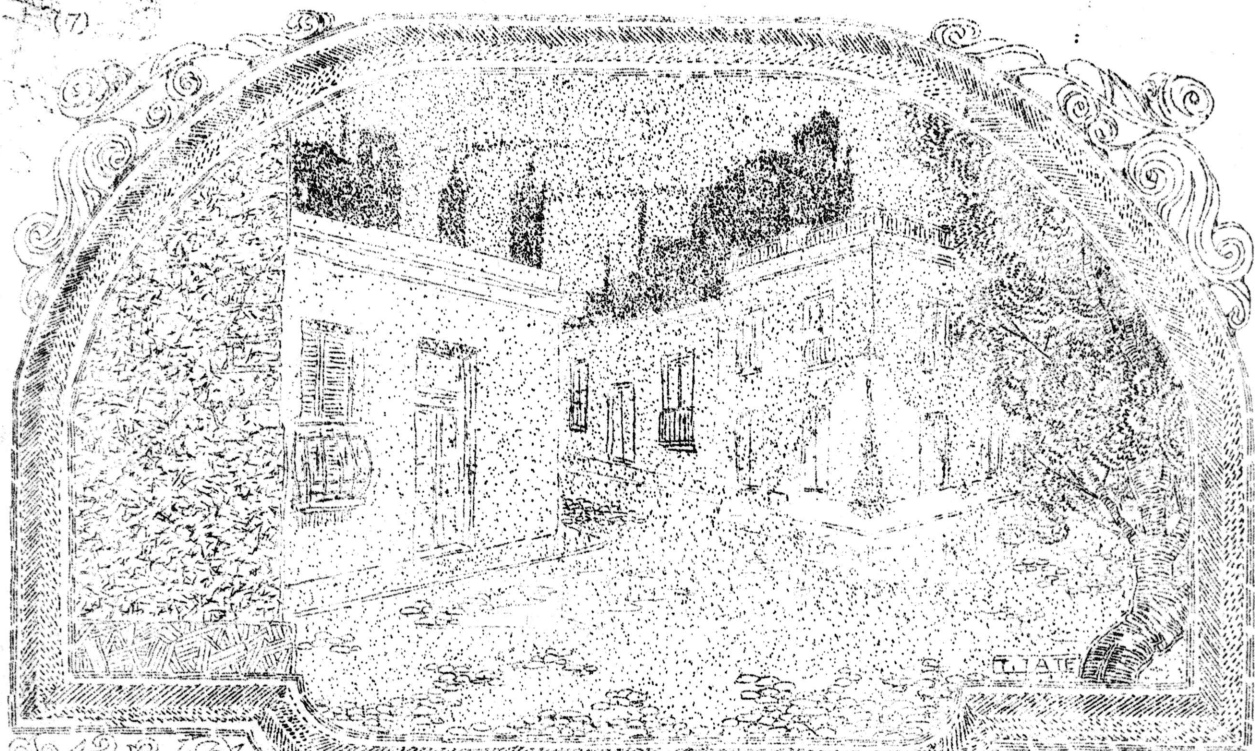
染物店「東京」
天野今朝治

LAVALLE 567
U.T. RETIRO 3335

25 DE MAYO
1810 — 1928
THE JAPAN BAR

ジャパンバー
新垣徳藏
大城蒲蔵

25 DE MAYO 427 — 37
U.T. RETIRO 0675



BUENOS AIRES

Por
C. GUIDO Y SPANO

(1)
He nacido en Buenos Aires.
¡Qué me importan los desaires!
Con que me trata la suerte!
Argentino hasta la muerte.
He nacido en Buenos Aires.

(3)
Hasta el aire aquí es sabroso:
Nace el hombre alegre, brioso,
Y las mujeres son lindas
Como en el árbol las guindas.
Hasta el aire aquí es sabroso.

(5)
¡Cuántos medran a tu sombra!
Tu capilla es verde alfombra,
Tus astros vivos topacios;
Hablando tus palacios,
¡Cuántos medran a tu sombra!

(2)
Tierra no hay como la mía
Ni Dios otra inventaria
Que más bella y noble fuera.
¡Viva el sol de mi bandera!
Tierra no hay como la mía.

(4)
¡Oh Buenos Aires, mi cuna!
¡De mi noche amparo y luna!
¡Aunque en placeres desbordes,
Cye estas dulces acordas.
¡Oh Buenos Aires mi cuna!

(6)
He nacido en Buenos Aires.
¡Qué me importan los desaires!
Con que me trata la suerte!
Argentino hasta la muerte.
He nacido en Buenos Aires.

(三)
大気さへ甘き此の郷土なるを
人々の心は華やかに輝かし
樹に實る楸排の如くにも
乙女等は麗れし
大気さへ甘き此にふるを

(二)
あか郷土こそ唯一ふり
かく麗しくかく
清らかなる國は
神さへ再び造るまじ
永久なる祖國の旗はしよ
あか郷土こそ唯一ふり。

(一)
われブエノスアイレスに生れぬ
運命如何につれおしとて
われは恐れじ
死に至る迄 亜國人なるを
われブエノスアイレスに生れぬ

ブエノスアイレスを歌ふ

カルロス ギド・イ・スパンノ作

(六)
われブエノスアイレスに生れぬ
運命如何につれおしとて
われは恐れじ
死に至る迄 亜國人なるを
われブエノスアイレスに生れぬ

(五)
幾人か汝が影に育まれし
廣くはみどり
星は黄玉の如し
汝が宮殿に住みつ、
幾人か汝が影に育まれし。

(四)
お、ブエノスアイレス。我が摇篮よ
あか夜の宿りと月よ
たごへ軟泉にあふる、とも
我が麗れし歌を聴け
お、ブエノスアイレス。我が摇篮よ。

自由解放と 新国家の組織

フエンスイレス大学教授
ヒカルド・レウエーネ

西アフリカ王国の属領時代を第一期とするアルゼンチン王国の歴史は一八〇一年五月廿五日を以て第二期に入り自由解放運動の初幕を演ずる。

一八〇一年に初ったリオデジャネイロ州に独立の革命運動は大半間續いて一八二四年七月八日に於けるトクマン會議の独立宣言によりて終局を結んだのであるが、最初武官に於て火蓋を切つた革命軍は一八二四年に至つてリオデジャネイロ州總督領の全域に擴まり、翌年一八二五年には更に南米全土に波及するに至つた。即ちサンマルティン將軍の自由解放軍はアンデス山の峻き迄進んで智利に入り更に長驅して秋露、エタアドルに達し、連戦連捷の末、アヤクチヨの會戦に臨み西アフリカ軍に最後の一撃を利して南米全土より西アフリカ王国の勢力を一掃することが出来たのである。アヤクチヨの戦捷を最後にして革命の火は漸く燃え盡き、自由の光が照らすに至つた。

スエドラス、サンロレンソ、トクマン、ルタ、等に戦ひて捷し、アヤクチヨ、ウアヤ、カイルカフ、アヨウマ、シベンヤ、等に於ては敗戦した。是を以てトクマン會議を召集して、自由を以て天下に何て官明するまでに清まつた。

然し、自由が一度自由解放の目的を達すると、更に国家統一組織の問題に遭遇せねばならぬ。自由解放の運動も去ることながら、新国家を建設し、其の統一を計らんとするは、難中の難事業である。自由解放の革命は其の運命に於ては、求むる所のものが国家組織統一の事業に成ると性質を異にして問題の解決は、戦場に於てせらるゝのではなく、是れは、早急な政治的の決断と用意周到の計画の下に始りて成るべきである。政治的の統一組織を達するには、軍事的の理想に達して、新法令を以て、改革を断行するといふ事のみで充分でない。新国家を律する憲法は、

先づ其の國の社會状態、經濟状態、米に國民の實力に適合せるものでなければならぬ。同時に尚ほ政治的の理想を加味する事も必要である。自由解放の事業が、民衆の絶大な犠牲を要する。是れが、殊に未だの任に當る人、即ち新国家組織統一の爲に立つ人、深からざる慮、綿密周到の用意を以てせねば、成就するものではない事は、理の当然である。

周た自主独立国家として立ち行ける力を養ふことが出来たからである。然し、特に新様に有利の境況にあつた米國で、一猶ほ實際に於ては、動もすれば分離せんとする教州に脅かされて、統一事業の瓦解に瀕した事一切は、止らなかつたのである。

また、佛蘭西の例に就て觀ても、同國は一七八九年の革命によりて王政を覆つた。之れは、代つた共和政府は、僅の数年にして倒れ、更に他の者が之に取つて代つた。此の變遷、極端に、其の變遷、其の國の社會状態に適合した政治を反映せしむることが出来なかつた。

一八三三年に於ける連國會議は、諸條の法文を制定したが、何れも部分的のもののみで、國本を定むる憲法と云ふべきものは、尙ほ得なかつた。是れは、其の時期に達せなかつたのである。故に、會議に於ては、早に憲法起草委員會を創設して、憲法起草委員會の起草に之れに所托することにまつた。此の事

祝 國 立 紀 念 日

田村良雄

谷貞一郎

陰山茂

角南利三

一八二四年のトクマン會議に於ても、憲法制定の事、其の多數の會議出席者は、君主制に傾いて居た。然し、此會議は、一八二四年に於て、憲法制定を見るに至つた。此會議は、地方自治の認め、中央集権的性質のもの、地方自治の地方民の反感を買ひ、更に連戦連捷の結果、一八二四年又々中央集権の域を脱し、自由憲法を布いた。此の自由憲法は、其の最後、サンマルティン會議（一八五三年）に於て、聯邦制度を採用した。今日の西國憲法制定を見るに至つたのであるが、而も此憲法制定の完成に至つたのは、パカオン戰役（一八六一年）武官長官ミット、將軍ウレキス將軍を破る）以後の事に歸して居る。

亞國文學史上に
現れた浪漫派詩人

倒扇

一八一〇年の五月革命以後、
國にはすくなく詩人が續々と
現はれた。革命が當時に
於ては、亞國々歌の作者と
して有名なウイセンテ・ロペスと
エスパン・ルーカの二人が最も傑
出して居たが、リバギエアの革
新政党を讀みたるフアン・クルス
・デ・アルカデ、詩作を出して、
亞國に於ける古典詩全盛時代
であつた。其後、
學史上に浪漫派文學が現は
れたのは、是れは十九世紀の初
めに於ける、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

『ホセ・マルセル』
の熱烈な愛で、
...

TINTORERIA "JAPONESA" DE E. OKAWA ARENALES 2301 U.T. Juncal 4675 大川 榮一 祝亞國独立祭
CASA "NIKKO" DE Y. SHIMA PARA REGALOS Y ADORNOS SUIPACHA 1010 Bº Aº 志真商店 祝亞國独立祭

JUAN MURAKAMI Y Hnos. Almacén de Comestible Mercado San Patricio HERNANDARIAS 1582 村上兄弟 祝亞國独立祭
CAFE TOKIO CALLE CORDOBA 373 Suc. CALLE CORDOBA 493 BELL VILLE Prov. de CORDOBA 山 鷓 中 村 口 末 辰 米 吉 馬 助 祝亞國独立祭

祝 英 國 獨 立 祭

秋葉政一

仲間平助

杉原隆治

伊藤清藏

佐伯亥九二

七草木萬之丞

北川 稔

橋本又市

田中長造

横堀三四

下平重喜

秋葉新一

谷本兼吉

福富 純

新屋敷蒲戸

羽生兄弟

本田儀平治

門田勇吉

新日本園

河野通公

道源宗一

市内カビルド街四六二

片山良平

伏見眞次郎

坂本俊一

坂本倉太

祝 國 獨 立 紀 念 祭

梶 田 修 市	高 橋 坂 衛	五 太 子 忠	宮 崎 八 郎	吉 橋 好 太 郎	能 勢 忠 平
塩 澤 長 助	森 川 興 十 郎	田 中 教 好	松 井 亮 爾	増 山 豊 吉	及 川 晋 治
有 水 藤 太 郎	出 口 三 郎	荻 野 定 雄	望 月 豊 吉 <small>市内ベルクラ街一四七。</small>	石 原 生	宮 本 肇 小 国 鎮 吉 崎 興 吉

本間 欽雄 大垣 俊雄
 相良 周吉 桐原 茂雄
 橋本 仙次 福田 勝市
 廣瀬 寛治 竹原 太郎
 吉田 富石 川芳 範造
 坂本 信吾 池田 誠造
 田中 乙吉 大西 佐一郎
 金不 驥一郎 原田 四郎
 緒方 義雄 谷口 萬年
 指宿 一男 戸口 小園
 石橋 一任 原田 晨
 渡辺 安治 島貫 武廣
 大嶋 健太 田三 郎
 田中 南次 平川 末友
 松平 友公 上田 秀之助
 菅沼 久太郎 岡田 領治
 中原 喜之助 鈴木 帖九郎
 石田 納助 脇水 鉄弥
 菊地 卯三郎 西野 七子
 岡部 壯一 藤井 橋四郎
 山脇 龍雄 新宅 隆一
 渋谷 源輔 水野 勉

亞國は如何にして世界的に 發展せんとするか

在亞帝國公使官附武官
陸軍歩兵少佐

今村勝次

軍然下天和國建設されて星霜
茲に百十有八、本日の独立紀念
祭を迎ふるに当り吾人も亦亞國民
と共に衷心の祝意を表す。

亞國が新興文明國として克く今日の
隆盛を遂げし更に洋々たる前途に
向つて確然たる地歩を占む可く新進
一ツ、ある理由にて止まらずと
吾人は當國市民が常に其の自由平和
を愛護し更に主として歐洲移民の
に依つて自國の開發を計るに當り如何
にして彼等を亞國化せしめんとすか
兵に甚大の考慮と努力とを拂ひつあ
ることの二つを擧ぐるを以て。

間には幸甚に於て準備
獲行はれつ、あり。
の奔末に賦せしめたる
可しと見るは當らざるも
甚だし、世人動もすれば
伯亞兩國を以て仲睦し
らざるもの、如く吾人も
のこれある共吾人は何
ぞか、材料の存在を
認めず、智利に對する
亦然り。

由來海外からの移民を以て國家の開
発せしむるの故は彼等移民者の
通曉する移住地より自己を愛
し、自己の物質的成就を以て
り。然るに亞國歴代の為政者は
蓋し、一般市民は此故を以て
がために無應的移民を以て可く
教育の如きも極力亞國化に努め
あるが故に亞國の國民精神とも亦
可きものにて克く統一され亞國
民は之を土着者と移民系市民と
同はず亞國を愛し亞國の爲に盡
すと言ふ或る種の意見を以て將來に於
ける國力の充實、國勢の伸張は益
々亞國を以て國際的地位を以て
位につかへるに至る可しと見るも誤
りかからず。

ず、街上若しくは演習地等に在つて
一度軍旗の飄るを見るや一様に脱
帽の禮を表するの華美を見るあり
然らば此新興文明國たる亞國は
下は今後如何にして世界的に發展
しありやと言はば、吾人は於て政
治の文物を容れ資本の招致に努
め、同様に今後に於ても之を益々
旺ふらうと、更に智利に對する
親和協調を以て太平洋沿岸諸
邦共に太平洋を以て極東の文明を
入人としつ、あるにはあらざやく思
する者あり。

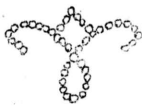
然かも外國文明を受入る、下は
是れが是否の判断に誤りあからん
とに細心の配慮を拂ひつ、あるもの
如し。例へば、現時最大の資本を北
米に仰ぎつ、あるに拘らず、軍隊組織
の如きは北米のそれを取らんず、極
の組織に於ては如何か、其の一例
新く觀つて来る時、祝福されたる亞國
の前途は益々希望に輝きつ、ある
ものと稱す可く吾人は吾、日東南
國が此の大亞國吾南米に對するに
確たる政策の樹立、積極的完全
展の方策を採らんことを希む者也
(在文藝記者)

奉祝亞國獨立祭

36 ビヤール 製菓造會社
ブルンスウイック 撞球會社
代理人 久慈 忠
ヘルガミノー市

CAFÉ JAPONES DE ICHIRO Y ONUMA
PUNTA ALTA F.C.P.
奉祝 亞國獨立祭
一九二六年五月廿五日
プンタアルタ市 カネエ・スボネス
大沼條一郎

1810 - 25 DE MAYO - 1928
 TINTORERIA TOKIO EN BELGRANO



CALLE MENDOZA 2450
 U.T. 2819 BELGRANO

"LA HIGIENDA"
 DE
 JONDE Y UCHIDA
 GRAN TALLER JAPONES
 DELAVADO Y PLANCHADO

内本
 田出
 貴嘉
 徳太郎

856-MAIPU-860

TINTORERIA
 "SATUMA"

DE
 Curu Hermanos

水流
 兄弟

JUNCAL 1841
 U.T. 41 Plaza 2097

祝
 愛
 國
 獨
 立
 祭

ALMACEN Y BAZAR
 DE
 T. NAKAGAWA

中
 川
 商
 店

アルマゼン
 バルケ・レサマ
 市内ラレス街
 電話 3066

SUAREZ 1300
 U.T. 0869 BARRACAS

DESPENSA
 "PARQUE LEZAMA"

福
 田
 金
 次
 郎

アルマゼン
 バルケ・レサマ

CALLE PATRICIOS 11
 U.T. B. Orden 0607

1810 - 25 DE MAYO - 1928
CAFE "SATUMA"

DE KUROKAWA Hnos.

黒川 義盛
 黒川 禎助

カネ「さま」

CASA PRINCIPAL:
 RECONQUISTA 424
 U.T. RETIRO 31 - 2896

SUCURSAL:
 Av. L.N. ALEM 316-322
 U.T. RETIRO 31 - 1571

"EL YOKOHAMA"
 Gran Tintoreria
 y Taller de Lavado y Planchado

Luis Hamikubo

上久保洗濯店

Bme Mitre 2511
 U. B. 47 Compo 7154

TINTORERIA
"LA CRISANTEMO"

根本次根
 本田唐吉

染物兼洗濯店
 「ラクリサントーモ」

CATAMARCA 1186

TALLER "HINOMOTO"
 DE LAVADO Y PRANCHADO
 A GAS Y ELECTRICIDAD
 DE
 ONAHA Hnos.

小那覇兄弟
 リマ街四八九
 のもと洗濯店

LIMA 489

祝強國
 獨立榮

"EL ASARI"
 GRAN TALLER JAPONÉS
 DE
 LAVADO Y PRANCHADO

宮園新之助
 洗濯店
 「朝日」

CHARCAS 1857
 U. B. 4366 Juncal.



口笛の女

左の手作

男には、口笛があつた。フワッラと音ふ。然し彼は無一文だつた。だから女と結婚する為めにはどうしてと、いくらかの金も蓄えかければならぬ。

ニッソと心地よ、微笑さへ落べり、きつとフワッラだつて昔とかかりかいてあうう。

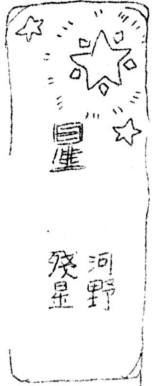
死

結

一番好きか曲かのだ。心ゆくまで口笛を吹きあらしながら、重い足音は一歩々々女の家へと彼を運ぶ。

七日あまりの元割れ月は寂として響きさくドドバの山中を無気味に照らしてゐる。

た後、やがて思ひ切つた様に呼鈴を押し、ワタクと走り寄り足音、やがて扉はひらかれ、うきうき電燈の光りに驚いた様か女の顔が



BAZAR JAPONES 白井知則 入月武 RIOJA 1854 - Bs. As.

JIRO HONDA & Hno. IMPORTADORES DE ARTICULOS GENERALES DEL JAPON. BELGRANO 847 - B. AIRES U.T. 38 - Mayo 2718 Direccion Telegrafica: HONDA Bs As

噴火山香

坡

旅人の路は明かる―秋の夜も

浅間の山は唐紅に

―廻廊日記より―

秋から人蔭の樹々は紅みに
あけぼの色の峰の鬼火は

―観節日記より―

噴火山を歌つたのが支那では面白
狂伴に述べる五言律がある。

香煙包宇宙 爆山動天地
爆子操景後 臥榻高推動

即ち俺れの吸ふ香煙(煙草のこと)
は爲めに宇宙を包み爆発する

噴火山の爲めには天地が震動し
とて爆子(女郎の事)は果敢の

下の長い先生と枕を共にすれば爲
めに臥榻(投台)は推るも動く

言ふ痛収かことと云つてゐる。

庚申三伏の夏一月以来餘りの暑
さに噴火山も中止してより夏に句

月今や秋蕭條のブラス街頭に
は諸樹蒼蒼、紅燈の影を抹ぬ

る白面の爆子 妖影 現はれ 愈

々々との阿と籠れ心身懐中 共
に淋しさを増す此秋夜 当道

の独立紀念祭に筆を揮りて噴火
の餘燼を吐かぬ吾人々と共に嘆

かからんかと思ふ。

不調の拙文筆ひいて讀者諸兄
怖れ御一讀を得んば善心饒倒

して魂 宇宙に迷ふの光榮で

△富士嶽遠望

古谷軍會公使去つて早三ヶ月
文千嬢亦た然り公使長命の

旅も終りて葉高ふる日本富士
嶽を眺め在りし昔の噴火時代

と意氣を何と見る 正視正観の
出来得る血視眼ふらさずは幸ひ

である。

雨と矢と降りそぐ白雪の爲の傳
意の噴火も餘燼おくせし休火

山の姿を何と観る 正視正観の
出来得る血視眼ふらさずは幸ひ

である。

△獨立

獨立の親王で有名なのは何人と
言つてもヨキリストだ。其女親と

離れ子と離れ妻と離れその兄弟
姉妹と離れ而て吾が救へる

く吾は幸ひである。と神の道へ
の爲めに親に叛き骨肉に叛くは

何でもない。吾より以上に希望して
ゐるのである。

だが近世では獨立の意味に於て多
くは金のための離れ金力を得んた
に獨立を望んでゐる者が多い。

國は民福のために主義のために人
類は義のために真理のために起つ

てこそ意義ある獨立であるであら
う。夫たる者 外の情拂つたもの

を獨立せしめては是れもものなる
るであらう。妻も夫に對して 亦た

然り。

△秋想詩片

満山如錦淡遠帆 許題聽醉秋五
華送急先訪燈邊 燈下閑臥想佳年

とは同窓の士が有りさうなものだ。

△戀

惚れて惚れられたものを恋とす

円熟した理想の恋と云ふ。一方が
嫌やだのに無暗に惚れるのは片思

ひの恋。口説いて惚れられろと振袖

の恋と云ふ。甲の男が乙の女を肉の女

に關係してつてふ場面の出たもの

三節關係とか後何學的アモールと

か言ふ。有夫の婦人に惚れるのを

横恋慕と云ふ。巫子と神主との關

係を西遊記の原の恋と云ふ。

坊主と後家との恋を日本では便利

加羅羅子の恋といふ。二、意味

か。意味は内容で子供が生れる

からず。

年主のあるに若い書生と出来たの

を燕の恋といふ。フム家や龍の

妙、亦た一般と云ふからず。

四十男の恋を頼もさ心さ初老の恋

と云ふ。今日本で評判の團公家

愛のあはれと云ふ。銀行員との仲

あんなは年若の盲目恋だ。風に

情のな五月の経の吹と流し。

旅に捨て行く後者の恋とか旅人

の恋とか思ひつた田舎娘の恋や

薄べつらあもダンガールに出る合

の恋は、いゝも、いゝも、迎におれ

はいくら書いても限りがない。

△清夜吟

月到天心裏 風來水面時
一枝著意味 料得少人知

月は空中に見れば水面に此の

すがくしと云ふ宜いなり。知る

人を掃き取り、と今暫くは

新の心境で居りたい

△歸都來

半歲自適草庵夢
風清塵外魂洗々

歸都忽恨俗塵深
和近巷間綠燈中

(完)

<p>祝強國獨立</p>	<p>祝強國獨立</p>
<p>EL YAMATO</p>	<p>KIOTO</p>
<p>TINTORERIA LAVADO Y PLANCHADO</p>	<p>CAFE Y BILLAR</p>
<p>DE M.W. SENNO</p>	<p>カフエ「京都」</p>
<p>染物洗濯店</p>	<p>窪 禎藏</p>
<p>瀨尾和太郎</p>	<p>コリエンテス 2702</p>
<p>ラスエーラス 1917</p>	<p>電ミートレ 1253</p>
<p>電話ンカル 5091</p>	<p>CORRIENTES 2702 - U.S. Mts. 1253</p>

LAS HERAS 1897 22.6. Juncal 5091

CORRIENTES 2702 - U.S. Mts. 1253

1810 - 25 DE MAYO - 1928

ESTACION  SERVICIO

TALLER MECANICO DE PRECISION
REPARACIONES DE TODA CLASE DE MOTORES
A EXPLOSION

Andres E. Martinez
ARENALES 2625-29
BUENOS AIRES

SAN JUAN
GRANDES ALMACENES

サンファン
呉服店

PIEDRAS - VICTORIA - ALSINA

DR. J. P. MUNZINGER

MEDICO CIRJANO
178 LIMA 188 U.T. 1154 Rivad.

独乙病院附
並ニ日會顧問
醫師
ムンシンガー

DR. P. F. MALVICINO

LAVALLE 912 R1°

生殖器
尿道専門
皮膚
ドクトル
マルヴィシーノ

GRAN CASA
DE BAÑO

高等衛生的
御入浴
工直瓦呂まり

BELGRANO 1032
U.T. Riv. 2484

"AU PETIT DUC"
SASTRERIA DE MEDIDA FINA
CAMARA Y CALVO

高等洋服店
ゾフィニウク
サレモト街一五
電五五九
マルヴィシーノ

SARMIENTO 1073 U.T. 5509 Rivad.

GINESTET Y TALLER
TALLER MECANICO DE AUTOMOVILES

モートル其他
一切の修繕
ヒネスデ
タジール商會
市内カセロス街一七二

CASEROS 1712 - U.T. B. Orden 2808

"NEW YORK"

帽子ファッションヤ
最新式器械
十月五號販賣にも應ず
發賣所
市内モレーノ街九六三
電話マリーヨ 三三九五

祝 愛 國 獨 立 祭

TALLER MECANICO DE
SIMBOLI & RITA

REPARACIONES DE AUTOMOVILES
EN GENERAL.

USPALLATA 856
U.T. 23, B. Orden 4846

Colombes Olari

AZUCUENAGA
249 - 257
U.T.
VENTAS: 62 MITRE 3446
ESCRITORIO: 62 MITRE 3391

FABRICANTES
DE
ACCESORIOS
PARA
AUTOMOVILES
LACCHAS
Y YACHTS
TALLERES DE
BRONCERIA
FUNDICION
MIQUELADA

BUENOS AIRES

CAFE TOKIO

TUCUMAN 1099

星田兄弟
トクマン街一〇九九
カエ東京

田中榮三

バラナ街五八

T. YAMADA

MAJAJISTA JAPONES

PATRICIOS 1254

山田忠重
パトリシオス街
一三五四
日本式
按摩及
鍼

雜穀食料品商

西坂貫太

アウトラリア街二〇二
U.T. バラカス
二九二五

TINTORERIA
"EDO"

眞玉橋朝展

RIVADAVIA 6114
U.T. 66 Flores 6863

片山洋服店

タクアリ街五八〇三番
電話二七〇一マリーヨ

等高御旅館

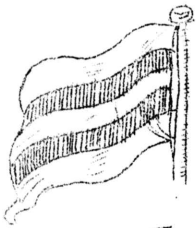
川端嵩

エルドハ州ウシキ一リヨ

Pianos Breyer
 VENTA POR MENSUALIDADES.
 PIDAN LOS PRECIOS DE CONDICION.

祝 強 國 獨 立 祭

郵船は毎月一回南
 西經由神戸向フエス
 に出帆します。船内
 衛生設備の完全、食
 事の優秀、乗組
 員の懇切については
 定評があります。
 出帆日取其他詳細
 は下記代理店又は
 富崎商店(電話)
 ラウカス一七三六へ御照会
 金目録がります。



日本郵船株式會社
 母國へ一番早く着く船(神戸迄)
 神奈川丸 六月十日迄に入港の予定

◎日本から呼寄せの便法◎
 日本から呼寄せする場合は、
 代理店へお申し込みください。
 指圖書を差上げます。之で日本内地の御
 本へお送りになり、乗船地の郵船又
 店へ乗船券と引換へらるゝので、
 此取扱の送金費用や手教が省け
 且つ最も安全な方法であります。

Lampport & Holt Ltd.
 Sarmiento 443 B. Aires

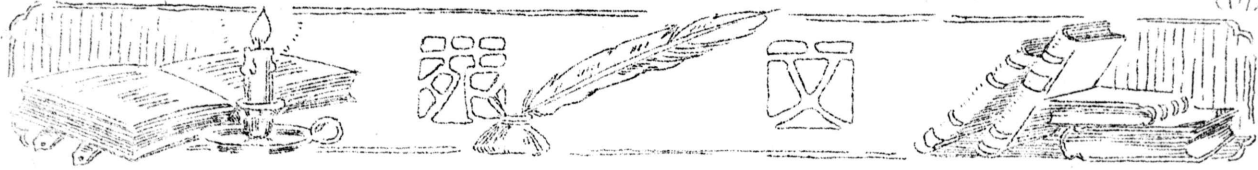
EL "TOKIO"
 GRAN TINTORERIA
 TALLER DE LAVADO
 Y PLANCHADO
 DE

ADOLFO K. OTUBO

RIVADAVIA 5202 U.T. Caballito 4738

B. AIRES

大 坪 喜 義



詩

童 冬の風 てつ弥

南の風

吹き飛ばせ！
吹き飛ばせ！
吹き飛ばせ！

野の風

凍えて居る

冬の風

吹き飛ばせ！
吹き飛ばせ！
吹き飛ばせ！

童 鴉の目 てつ弥

日曜日

赤い鴉

留守居番

日曜日

詩

てつ弥

船大かきと覆えろ

君は！

本洋と越えろ

旅行家だ

高は！

音家

だが

小鳥の巣

僕が

詩

踏繪

無心の幼い児

は、ずりする

乗る時は

情ふく打たれぬ

我がたまらぬ

泣き笑ひ

詩

銀の小糸

踏繪

涙の初め

小鳥の光

詩

旅の女

踏繪

誰れが調べの音

行の音に

故郷の父

母の涙

詩

鳩

京太郎

何処より来たか

妻の心

踊り疲れた

ホーホーと鳴く

小唄

名ふし草

独り寂しく

心待ち

今

秋深み行く

歌

今

涙

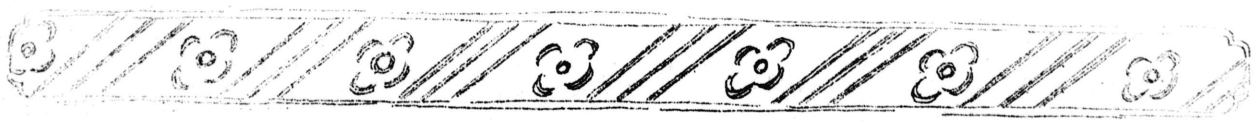
月

世

涙

月

花





和歌

秋

京太郎

この風は... 秋の夜は... 月影を... 思ひ出す...

折口ゆた

しみぐと... 折口ゆた... 秋の夜は... 思ひ出す...

雑詠

堯民

秋の午後... 思ひ出す... 折口ゆた... 思ひ出す...

舞姫を想ふ

舞姫を想ふ... 思ひ出す... 折口ゆた... 思ひ出す...

俳句

山麓庵... 思ひ出す... 折口ゆた... 思ひ出す...

落ち葉

葉隠

落ち葉... 思ひ出す... 折口ゆた... 思ひ出す...

冬

ぼら八

冬... 思ひ出す... 折口ゆた... 思ひ出す...

雑報

人事

西山 茂氏(関東廳事務官) 過殿視察のため末更、廿一日退任

今村 勝次氏(在軍公使館附設官) 視察のため十五日退任、ウヅグアイに赴き十九日帰武

上原 種美氏(三重縣高農教授) 廿六日アストリア号にて淡州に向かう

辛島 秀夫氏(勸業部嘱託) 肝臓炎にてサトリウム、クリチスに入院中ありし同氏は去る十五日退院、福原館にて静養中

肥田 氏(在コモロ、リハ、パピア) 出陣中、今月末退任の筈

高橋 米治氏(在ラモス、メット) 廿六日廿七夜未渡車に於て初子出産祝宴を張り、未會者十数名頗る盛寧ありし由

辻氏會長

就任を語る

去る十五日の夜、復會が満場一致にて推薦せる日會々會長兼副會長安東定夫氏は何れも熱考の上就任承諾された。理事平工藤氏幹任の神又、橋本又市氏も就任承諾の由

テニス倶楽部

秋季トーナメント

去る十七日より開催の右トーナメントは豫定の通り、プログラマ進行し、来る廿一日左記の番組により優勝戦を行ひ、終了後賞品授賞式兼に慰勞會話會を催す豫定あり

一、會長賞 尾の勝者
二、會長賞 尾の勝者
三、會長賞 尾の勝者

女子シングルス (今村夫人対井井夫人) 一、優勝部賞 尾の勝者
ダブルス (今村夫人対尾尾夫人) 一、優勝部賞 尾の勝者

野口英世博士逝く

廿一日倫敦發電に依れば、英領西アフリカに於て同地方の黄熱病研習中ありし野口英世博士は、病毒に感染し、死去せられたと傳へらる。博士は熱病菌に關し、殊に、その世界的名譽を博し、愛に木田ロック、ケネラー博士、森田博士等所々に學識を承つ、あつた

張北京開け渡すか

廿一日北京より報道によると、北京に於ける張作霖將軍は、南軍の侵入に對し、一戦を交へんと構えて居るが、北京政府当局は、便利の見込みなしと、小意見で不戦退却の準備中である。日軍も張軍の北京退却を見越して、奉天に關東駐屯軍を集中し、暴動に備へんとする

西和辭典

西語界の權威、河野玄先生多年の心血をこめて成れる空前の力作!!
售價 拾一ペソ
送料 廿五仙

原商店

市内ベルラン街一四七〇
支店バルトロメイト街一〇三〇

チントレリア譲る

歸國の爲め小生経営中のチントレリア本店に支店願する條件にて譲り渡したし、本細は左記に御末談さるる市内コリエンテス街三五八九 宮崎惟光

送金相場

百ナヘン拾仙 (廿二日現在)

安東商店の電話番号

来る廿七日より元の通り変更する
UT. MAYO 1402

配達人一名入用

自稱車に乗れ西語の分る者、給料良し
市内リバタビア街五二〇ニ
大平

産書記入用

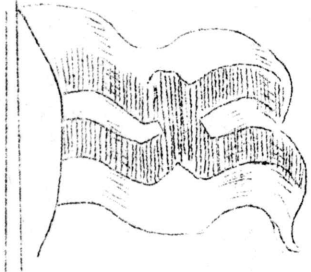
産書記一名入用
月給百八十ペソ
中等教育以上の素養ある者、希望者は六月十四日に中華屋産書と事務所に提出のこと
在連日本人會

廣告

政森山岩君の墓地、白い五ヶ年間存続致度必要有、故に、故人の埋葬費證明書御所持の方は御牛教ふか、在記拙者宛て御一紙下され度此致候上候
昭和三年五月廿二日
市内エルナンテリア街
一五四四番
梶田 終市

大阪商船株式會社

はあい丸 六月十四日午着予定、同月廿二日発
らぶらた丸 六月十五日着予定、同月廿日発
日亞間唯一政府命令定期船



日本より家族御寄附の方
は船便を当地で押込願へば
日本/アエス乗船切符(指圖書)を發行致します
詳細は左記に御問合せ下さい
市内サンマルテン街四一八
電話二八二五(レタイル)

祝 強 国 独 立 祭

かまほこ調製衣配達致します。

御料理 末廣亭

松尾好一

パトリシマス 庶一九番
電話 アニナルテン 五七三五

祝 強 国 独 立 祭

御料理 昭和館

松本春松

コリエンテス 街 二五二九

CORRIENTES 2529

祝 強 国 独 立 祭

菊水

北島寛逸

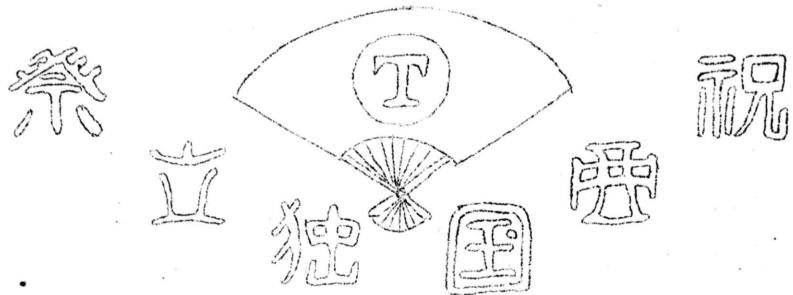
コリエンテス 街 二二三四番

祝 強 国 独 立 祭

たるま亭

松田清市

ヒエドラス 街 八七三番
U T 一五二七 フェノルテン



PROVEEDORES MARITIMOS

JOSE TOMISAKI

VENTA POR MAYOR Y MENOR
Cable Address "TOMISAKI"
U.T. 21 Barracas 1736

— REPARTO A DOMICILIO —

ALMACEN DE COMESTIBLES Her nandarias 1544

CARNICERIAS Hernandarias 1538

ESCRITORIO Magallanes 1230
- U.T. 21 Barracas 2628

BUENOS AIRES

中川富富有富川水徳硯富
石下崎崎馬崎下川門田崎
フランシスコ 小菊八良 盛青修敦
梅野重雄 環信 茨市馬

店主 富崎 勇

富崎商店

ブチスアイレス市エルナンテイア街一五四
電二一巴拉カス 一七三六
電報略號 「トミサキ」

(店員廿一名)
ロセンテイ・セベリーナ
アルボンソ・ミゲール
トムフソン・アルベルト
ローシ・アントニオ
メコシ・ホセ
ミコロ・フランシスコ
オルベイヤ・ホセ
カルニリア・ニコラス
デスターン・アントニオ
ジノキオ・ドミンゴ



社報時丁然爾亞
人同

亞爾然丁時報
Usfaldia 981, Bs Aires
U.T. - Post B. Oden
發行人 水野勉